

潮だまりや池に生き物採集に行こう！



海や川は色々な生き物がたくさん。
春から夏に向けて海や川に生き物採集にでかけよう。
とった生き物は家に持って帰って飼育をしてみれば
生き物の生活が観察出来て面白いよ！



潮だまりって？

夏に家族で海水浴に海へ出掛けた時に見た事があるって人も多いと思うんだけど
岩場の間に出来た池の事なんだ。潮だまりにはいろいろな生物がたくさん生活していて
小さな海を形成しているんだ。

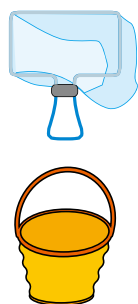


採集用具と服装

あみ
これがなければ生き物はとれないよね？
あみが丸いものよりイラストの様な四角いもののほうがとりやすいんだ。

バケツ
とった生き物を入れるためのバケツ。

生き物入れ容器
家に持って帰る場合は水のもれない容器が必要だよ。



服装
帽子 真夏の日光はとても強いから日射病とかにならない様に必ず帽子は持参しよう。
靴 潮だまりの岩場はとてすべりやすいのでビーチサンダルは危険！汚れてもいい運動靴をはこう。

ヒトデの仲間
いろんな形のヒトデがいるよ。
あまり動かないので簡単に採集出来るよ。



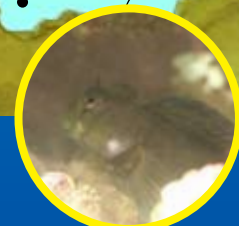
ヤドカリの仲間
巻貝を宿にしたカニの仲間だよ。動きのスローなので簡単に採集できるよ。

イソシジエ
一番多く採集できるのがこのエビ。潮だまりに浮いている海藻をあみでそとずくってみよう。

潮だまりで採集できる主な生き物



ウメボシイソギンチャク
ハゼの仲間。岩場の陸上部分をウメボシみたいな形のイソギンチャク。あみでは取れないよ！



カエルウオ
ハゼの仲間。岩場の陸上部分をカエルの様にビョンビョン跳んで移動するんだ。

採集のコツ
目に見えた生き物をあみで追いかけても簡単には捕まえられるけど海藻の中や岩沿いをあみですくってみよう。びっくりするほど簡単にいろんな生き物が採集出来るはずだよ！



採集した生き物を飼育してみよう！

せっかく捕まえたのだから出来れば家で飼ってみたいよね？日常管理をしっかり行えば簡単に飼育出来るよ！

用意するもの

- 水槽**
置き場所や生き物の数を考えて用意しよう。ガラス製やプラスチック製なあと種類も色々あるよ。
- カルキ抜き**
水道水に含まれた生き物には有害な塩素を中和する液体。
- ろかフィルター**
フンやエサの食べ残しで汚れた水をキレイにしてくれる機械。生き物を長生きさせるために必要だよ。
- 温度計**
水の温度を測るために必要。



海の生き物を飼育するには、人工海水の素。水道水を海の水に変えてくれる海水の素だよ。容量を守って使用しよう。



日常の管理方法

- 生き物を長く飼育する為には日常の管理が大切だよ。
- エサ**
熱帯魚屋さんとかで売っているエサが便利。1日1回決まった時間にエサをあげよう。あげすぎは水を汚すので注意してね。
 - 水換え**
2週間に1度位、水槽の半分くらいの水を新しい水に交換しよう。カルキ抜きで塩素を中和することを忘れずに。
 - 水温**
夏は水温が30度以上にならないように風通しの良い涼しい場所に
冬は水温が15度以下にならないように室内の暖かい場所で管理しよう。

池の水槽



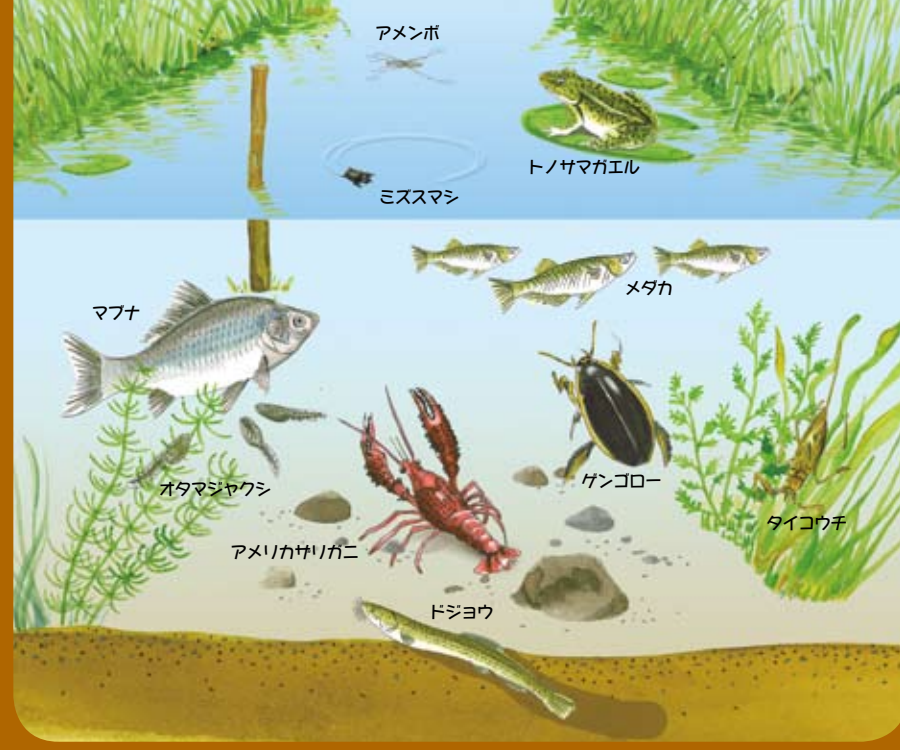
水槽のアクセントに枯れ木や水草を使うと生き物の隠れ場所もできて生き物も落ち着くんた。

海的水槽



ライブロックという熱帯魚屋さんで売っている海の岩を使えば写真のようなカッコイイ水槽に。

池や小川の生き物



指導者の方へ

採集時の注意事項
今回紹介しました磯や河川での生き物採集は楽しいレジャーですが、事故やトラブルが起きてしまつてはせっかくの楽しい思い出も無しです。ルールを守り安全に配慮して楽しい思い出づくりをしましょう。

足元に注意
潮溜まりや池などは非常に滑りやすい場所も多いので保護者の方の目の届く場所で採集を行いましょう。

採集禁止の生き物
サザエやアワビなど食用生物は漁業権によって漁師以外の採集行為は禁止されています。もし見つけたとしても採集してはいけません。また場所によっては潮溜まりでの採集行為や立ち入りを禁止している場所もありますので事前確認をしっかりと行いましょう。

危険生物に注意
特に海の場合、毒を持った危険生物も少なくありません。水面をゆらゆらと動くクラゲやガンガゼといわれるウニは刺されると非常に痛みます。手で触れたり足で踏みつけると非常に危険です。波のくる場所や、水に入るような活動の場合などは、ライフジャケットも忘れなく。

